

# 電子顕微鏡像のガンマ処理 [III]

## \$ 序論

本アプリケーションソフトウェアは、電子顕微鏡像の“ガンマ処理”を行います。

## \$ ファンクション

-  電子顕微鏡像 (16/8 bits grayscale TIF, or, 8 bits grayscale BMP) を、開きます。
-  ガンマ処理のモードを、選択します。
-  ガンマ処理を、実行します。
-  処理された像を、クリップボードへコピーします。
-  処理された像を、名前を付けて保存します。
-  ヴァージョン情報を、表示します。
-  (このファイルです。)
-  本アプリケーションソフトウェアを、閉じます。

## \$ 取扱える像

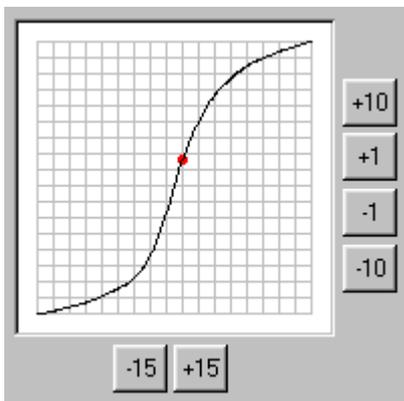
電子顕微鏡像で、非圧縮形の 16/8 bits grayscale TIF、または、非圧縮形の 8 bits grayscale BMP。  
[像のサイズ N x M: 64 <= N, M]

## \$ 使い方



1. 上記の条件を満たす電子顕微鏡像を、 ボタンで開きます。
2. ガンマ処理のモードを、 ボタンで選びます。
3. 選択したガンマ処理のモードでの処理を、 ボタンで行います。

### [3-1]. “Normal gamma correction 法” での処理

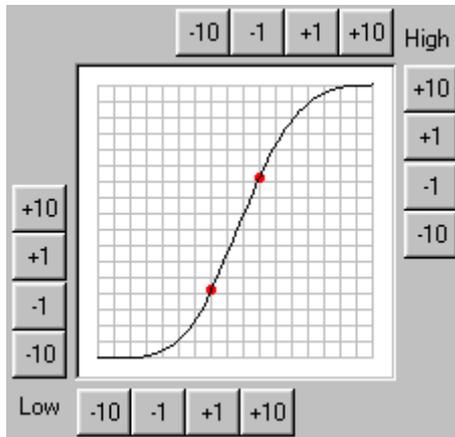


ガンマ処理の“ガンマカーブ”を、次の手順で作成します。

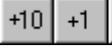
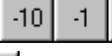
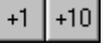
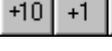
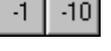
- 1) 赤点(変更したい点)の水平位置を、水平軸の  ボタンで 移動させます。
- 2) 選ばれた赤点を、垂直軸の   ボタンで 上下させます。

“ガンマカーブ”が出来上がったら、“OK” ボタン を押します。

### [3-2]. “Simple gamma correction 法” での処理



ガンマ処理の“ガンマカーブ”を、次の手順で作成します。

- 1) 左下部の赤点(変更したい点)を、下部の水平軸の   ボタンで 移動させます。
- 2) 選ばれた赤点を、左側の垂直軸の   ボタンで 上下させます。
- 3) 右上部の赤点(変更したい点)を、上部の水平軸の   ボタンで 移動させます。
- 4) 選ばれた赤点を、右側の垂直軸の   ボタンで 上下させます。

“ガンマカーブ”が出来上がったら、“OK” ボタン を押します。

4. 処理された像を、 ボタンで、名前を付けて保存します。
5. 必要なら、処理された像を、 ボタンで、クリップボードへコピーします。

\*\*\*\*\*

註:処理された像は、自動保存されません。

必要に応じ、処理された像を、 ボタンで 名前を付けて保存してください。

\*\*\*\*\*

### \$ 補足説明

本アプリケーションソフトウェアは、非圧縮形の 16/8 bits grayscale TIF (Tiff)、または、非圧縮形の 8 bits grayscale BMP (Bitmap) の電子顕微鏡像を、ガンマ処理できます。

16 bits grayscale TIF 像の場合には、像表示 と ヒストグラム表示 とは、共に、8 bits スタイルとなりますが、ガンマ処理された像は、 ボタンで、16 bits grayscale TIF 像として保存されます。